

G8環境大臣会合の関連事業で豊岡の取組みを紹介しました

G8(主要8カ国)環境大臣会合が5月24日～26日に神戸市で開催されました。この会合に合わせて開催された関連事業において、小中学生、高校生、団体、市がコウノトリと共に生きる豊岡の取組みを国内外の方に紹介しました。

《問合せ》コウノトリ共生課 ☎21-9017



G8環境大臣会合参加者のエクスカーション(視察) G8環境大臣会合に参加するグローブ・インターナショナル(3)幹部や海外の政府関係者が5月23日に豊岡を訪問しました。彼らは最初に城崎温泉街で昼食を取り、麦わら細工を見学した後、「コウノトリ文化館で中貝市長から「コウノトリと共に生きる豊岡の挑戦」の説明を、県立コウノトリの郷公園園長の増井光子さんから「コウノトリ野生復帰」の説明を聞き、郷公園で松の記念植樹を行いました。その後、カネカソーラー



コウノトリを観察(郷公園)



工場見学(カネカソーラーテック株)

その後、近畿大学附属豊岡中学校の生徒2人(2)と一緒に久々比神社や百合地区の人工巣塔を、そしてカネカソーラーテック株で太陽電池の製造工程を見学しました。1:豊岡高校の生徒が文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール」の指定を受けてコウノトリに関する研究を実施が子ども環境サミットに参加



活動発表(小坂小学校5年生)

彼らは最初に城崎温泉街で昼食を取り、麦わら細工を見学した後、「コウノトリ文化館で中貝市長から「コウノトリと共に生きる豊岡の挑戦」の説明を、県立コウノトリの郷公園園長の増井光子さんから「コウノトリ野生復帰」の説明を聞き、郷公園で松の記念植樹を行いました。その後、カネカソーラー

上: 100カ国、1,000人以上の国会議員が所属

テック株で太陽電池の製造工程等の説明を受けた後、工場を見学しました。3: 環境問題に取り組む国際議員連盟。

子ども環境サミット in K O B E 参加者のエクスカーション(視察) 子ども環境サミット in K O B E (5月22日～24日、神戸市)に参加するブリティッシュカウンシル(イギリスの公的な国際文化交流機関)のメンバーが、5月20日に豊岡を訪問しました。彼らはコウノトリ文化館で中貝市長から「コウノトリと共に生きる豊岡の挑戦」の説明を、豊岡高校(1)の生徒から「コウノトリの住む場所やエサに関する研究成果」の発表を聞き、祥雲寺区内の田んぼでコウノトリ育苗方法で作るお米の田植えを体験した後、コウノトリの郷営農組合組合長の稲葉

その後、近畿大学附属豊岡中学校の生徒2人(2)と一緒に久々比神社や百合地区の人工巣塔を、そしてカネカソーラーテック株で太陽電池の製造工程を見学しました。1: 豊岡高校の生徒が文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール」の指定を受けてコウノトリに関する研究を実施が子ども環境サミットに参加



田植え体験(祥雲寺区)



コウノトリを観察(百合地区)

ひょうごこども環境会議

地域で積極的に活動する子どもの育成を目指して5月17日・18日に神戸市などで開催され、県内の小学生延べ約200人が参加しました。この会議では小坂小学校など県内の6つの小学校・団体が環境活動を報告しました。小坂小学校の5年生17人は「コウノトリ羽ばたくふるさとを見つめて」をテーマに生きもの調査などの活動を発表しました。

ひょうご地球環境国際シンポジウム

人と自然が豊かに共生する持続可能なひょうごの実現などについて考えるため、5月22日に神戸市で開催され、約440人が参加しました。この会議では三江小学校など県内の2つの小学校が「洞爺湖サミットに向けた千葉・兵庫からの連携発信」として発表しました。三江小学校の5年生35人は「ぼくたちにできること」をテーマに「コウノトリにもやさしい地域づくりの取組み」などを発表しました。



活動発表(三江小学校5年生)

子ども環境サミット in K O B E
人々が地球環境問題に関心を持つ契機とすることを目指し、5月22日、24日に神戸市で開催され、延べ約3,200人が参加しました。国内の代表30人(に選ばれた近畿大学附属豊岡中学校の3年生2人は世界21カ国・地域から集まった子どもたちと環境問題について意見を交換しました。



意見発表した子どもたちほか

NGO・NPO国際シンポジウム

NGO・NPOや市民としての活動方針を打ち出し、大臣会合への提言などを行うため5月23日に神戸市で開催され、約300人が参加しました。NPO法人コウノトリ市民研究所代表の上田尚志さんがパネリストとして参加し、生物多様性に関し、意見を交換しました。

NGO・NPO交流の広場

NGO・NPOなどが環境問題などについて活動報告を行うため、5月24日・25日に神戸市で開催され、約5,000人が参加しました。中貝市長は「コウノトリと共に生きる豊岡の挑戦」を発表し、NPO法人コウノトリ市民研究所が活動内容や研究成果を展示しました。

環境フェア in K O B E

企業の先進的な環境技術や国・自治体の環境への取組みを紹介するため、5月23日、26日に神戸市で開催され、103の企業、団体等が出展し、約30,500人が来場しました。

市は、(株)カネカから同社の展示ブースの一部の提供を受け、「コウノトリと共に生きる豊岡の取組み」を紹介しました。



(株)カネカの展示ブース

5月23日「国際生物多様性の日」は豊岡でイベントを開催

コウノトリシンポジウム

国連が定める「国際生物多様性の日」であるこの日、コウノトリシンポジウムが豊岡市民プラザで開催されました。県立人と自然の博物館長の岩槻邦男さんをはじめとする著名な方々の講演に続き、俳優の柳生 博さんを交えた対談が行われました。通説を覆すようなコウノトリの盛んな繁殖活動についてのやり取りに、満員の会場が沸きあがる場面もありました。



コウノトリについての対談

ミュージカル「火の鳥」

同日夜、劇団わらび座によるミュージカル「火の鳥」が、市民会館文化ホールで行われ、所及ぶ地方公演の初日であるこの日、美術を担当された妹尾河童さんも舞台上に登場。大入りの観客は、命の連鎖を描く迫力のステージに酔いしれ、スタンディングオベーションで応えました。感動の一夜となりました。



ミュージカル「火の鳥」公演